

▶ 県下最大22万球のイルミネーション



12月1日から1月13日まで天理総合駅前広場で「光の祭典」が開かれました。

12月1日の点灯式には、寒さにもかかわらず多くの方が会場に訪れ、ステージでの音楽ライブや、抽選会などを楽しんでいました。

期間中、会場には光のトンネルや、巨大ツリー、動植物のイルミネーションなどが設けられ、多くの親子連れなどでにぎわっていました。



▲華麗なダンスで会場を盛りあげました

光の祭典



◀親子でカップキャンドルに点灯

▶ 南市長から表彰状を受け取る二階堂高等学校の生徒



県立二階堂高等学校が交通安全県民運動優秀団体として表彰

県立二階堂高等学校が、交通安全県民運動優秀団体表彰を受け、12月25日、天理山辺交通対策協議会会長の南市長から表彰状が授与されました。

この表彰は、交通安全・事故防止に対する取り組みが、ほかの模範と認められる団体に贈られます。同校は、交通安全の啓発をするため、手作りティッシュケースを、ドライバーに配布するなど、地域と連携して積極的に啓発活動に貢献した点が評価され、受賞に至りました。

山中葬儀社が車いすを寄贈



◀車いすの寄贈を受けた南市長

株式会社山中葬儀社が、人形供養祭・チャリティーバザーなどのイベント「ふれ『愛』感謝祭」の収益金で購入した車いす1台を市立養護・特別養護老人ホームふると園に寄贈されました。

その寄贈式が12月13日、ふるさと園で行われました。

寄贈式で山中社長は「今後も、地域のひとのふれあいを大切にしたい」と話していました。